

# 第10回（平成18年度第4回） かごしままちづくり会議会次第

○日時：平成18年12月25日（月）14時00分～  
○場所：鹿児島市民福祉プラザ5階中会議室

## 1 開 会

## 2 報 告

- (1) 第9回（平成18年度第3回）かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について
- (2) 第9回（平成18年度第3回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況について（全市的な事項）
- (3) 第10回（平成18年度第4回）地域まちづくり会議等について

## 3 協 議

### (1) テーマ協議

主テーマ：福祉、教育

副テーマ：コミュニティ

### (2) その他協議

## 4 その他の

## 5 閉 会

## かごしままちづくり会議委員名簿

(平成18年5月23日現在)

職名等	氏名	摘要
鹿児島大学法文学部教授	宮廻甫允	会長
日本ガス株式会社専務取締役	津曲貞利	副会長
吉田地域まちづくり会議会長	西園登	
桜島地域まちづくり会議会長	時村悟	
喜入地域まちづくり会議会長	今別府健司	
松元地域まちづくり会議会長	四元泰盛	
郡山地域まちづくり会議会長	槐島諭	
株式会社山形屋代表取締役会長	岩元純吉	
鹿児島市衛生組織連合会会長	岡本皐八	
鹿児島市生活研究グループ	武千世子	
NPO法人地域サポートよしのねぎぼうず理事長	永山恵子	
鹿児島市教育委員	奈良迫ミチ子	
南日本出版株式会社取締役	西みやび	
公募委員	前田真理	
公募委員	山本敬生	

# 第10回(平成18年度第4回)かごしままちづくり会議資料

- ページ
1. 第9回(平成18年度第3回)かごしままちづくり会議における意見等の検討状況 1~3
  2. 第9回(平成18年度第3回)地域まちづくり会議等における意見等の検討状況  
(全市的な事項) 4~8
  3. 第10回(平成18年度第4回)地域まちづくり会議等について 9~17

## かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

第9回（平成18年度第3回）

**意見等の分類** : 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他の  
**検討状況の分類** : 1 既に施策等に盛り込み済みのものの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、  
 4 市の所管に属さないものの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等に対する検討状況		検討状況の分類
		意見等の分類	関係部局	
1	コミュニティバスに関する地域連携について、公共交通等に関する地域連携アンケートを取った結果を踏まえた運行サービスの見直しを検討しているところである。アンケート調査実施に際しては、利用目的や利用頻度、利用区間など地域住民のニーズについて、詳細に調査してまいりたい。	2	企画部	2
2	コミュニティバスには、ただ走らせるだけではなく、生涯学習講座などのコミニュニケーションを充実させるべく、公共交通機関による連携軸を作り、公共交通機関との連携の活性化を図ることとする。 シヨンを生むような施設を打ち出すニーズも一緒に作るべきである。	2	企画部	2
3	高齢者の就業機会増進について考える際、シルバーパートナー登録者増のための施策だけに偏らず、高齢者とフリーターが限られる仕事量を奪い合う現状を見て、就業機会を増やす起業創出に力を入れるべき。 若手だけでなく高齢者の中にも起業意思を持つ方はいるので、高齢者向けの起業家の創設や、ニュービジネスの創出や創造的SOHO事業者育成などしてほしい。	2	経済局	1

第9回（平成18年度第3回）  
かごしまちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他  
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのものの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、  
 4 市の所管に属さないものの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
4	観光宣伝隊というのがあり、以前博多どんたくの列の中に、鹿児島市からおはら隊が10人そこそここの人數で参加しているのを見たが、せつからもつと人を増やして目に付く形でのどんたくへの参加ができるといいのではないか。	2	経済局	(財)鹿児島観光コンベンション協会にて、各都市間のまつり交流としてお互いに宣伝隊派遣事業を行っており、そのあり方にについては毎年検討していくこととしている。	5
5	桜島地域においては通勤通学をはじめ、何事も地域内で完結するものがなく、桜島フェリーが生命線となつていいが、桜島の不便さ、夜間の便数の少なさなどから常に不安と不便を感じながら生活しております。人口流動においては、地域住民の究極の願いであります。桜島架橋について、国・県の対応を見ながら実現に向けて検討してほしい。	2	企画部	桜島架橋は、極めて壮大なプロジェクトであることから、これを実現するには費用面や環境上の問題あるいは景観上の問題など、多くの困難な課題を解決しながら進めいかなければならないものと考えており、国家的なプロジェクトとして、県的に研究していくこととするところである。	4
6	コミュニティバスを定期的に運行しても多くの利用者が見込めない所なら、どこかに人と車を常駐させ、必要時に見つけた人がある程度度集まればそこに連絡があるといい。路線にしろ時刻にしろ、もう少しニーズを作つてほしい。	2	企画部	コミュニティバスの運行については、今後行うこととしているアンケート調査の結果を踏まえた運行サービスの見直しを検討しているところであります。ご意見については、参考にさせていただきたい。	2

## 第9回（平成18年度第3回） かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

**意見等の分類**：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他の  
**検討状況の分類**：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、  
 4 市の所管に属さないものの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
7	鹿児島駅から城山や磯方面までは、短区間なのに踏切数が多く、渋滞の発生や市街化構築の支障になつているので、高架にする等の改良を行つて交通の円滑化を図り、都市開発についても配慮をしてほしい。	2	建設局	<p>鹿児島駅周辺における鉄道の高架化については、現在、鹿児島において検討を進めている。これと連携し、本市においても交通混雑の解消と地域の一体的まちづくりを実現するため、区画整理事業等の検討を行つていているところである。</p> <p>また、磯地区の交通渋滞の緩和については、国道10号鹿児島北バイパスの整備促進を図るために、県市長会等を通して、国に対して要望活動を行つてている。</p> <p>※新市まちづくり計画      Vまちづくり計画      4 機能的で多彩な交流が拡がるまち[交流拠点都市]      (2) 市街地整備 (44ページ)      (5) 交通体系 (48ページ)</p>	1
8	旧5町地域に地域福祉館的なものの建設を検討していただけないか。	1	健康福祉局	<p>現時点において、旧5町地域には、地域公民館、校区コミュニティセンターなど、地域の集会などを行うことができる地域福祉館と類似した施設が整備されているところがある。</p> <p>福祉館の建設については、地理的状況、人口の集積状況、類似する既存施設の設置状況や利用状況等も勘案しながら今後検討していくこととし、現時点では、これら既存施設の活用を図つていただきたい。</p>	2

## 第9回（平成18年度第3回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）、  
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、  
 4 市の所管に属さないものの、5 その他の

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
1	吉田	現在共働きの人が多く、屋間、狂犬病予防注射を受けけることができない人も多いが、予防接種の義務、予防接種の必要性など十分に啓発してほしい。			市が実施する狂犬病予防の注射は、狂犬病予防法に定められた4月1日～6月30日の期間中に、市内の公園等に会場を設け、どの会場でも予防注射まで実施している。また、日曜日も実施している。市民を受けられるようになりたい。この期間中は、市内の市獣医師会会員の動物病院で予防注射が受けられるようになります。なお、狂犬病の発生等を防止するため、市内の市獣医師会会員の動物病院では年間を通して狂犬病予防注射を実施しているので、ご都合やご事情で予防注射を受けられない場合には、ご利用いただきたいと射を受けてもらいたい。	1
2	健康福祉局				犬の所有者へ対する予防接種の義務、必要性の周知、啓発等について。 ・犬の所有者へ狂犬病予防注射実施の通知 ・啓発用リーフレットの配布 ・市民のひろば等の広報紙への掲載 ・市ホームページへの掲載 ・市広報車による広報等を実施しているが、今後ともより一層の啓発に努めてまいりたい。	

## 第9回（平成18年度第3回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）  
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないものの、5 その他

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
2	吉田	在宅介護支援センターが包括支援センターといふと聞いたが、今まで高齢者といろいろ相談窓口は現在のまま残していただきたい。	2	健康福祉局	平成19年2月に「地域包括支援センター」が吉田支所内に設置され、従来の在宅介護支援センターが引き続き予定である。 保健師、社会福祉士等の専門職が、高齢者のための保健康保、より充実した対応が可能になる。	1
3	吉田	若い人を中心には國民年金の加入者が減少していると聞く。農業者年金は國民年金加入が条例になつていて、國民年金離れがこれ以上進むと制度の存続が危惧される。行政の方で、國民年金加入の促進を図つていただきたい。	2	市民局	国民年金の加入促進の事務は、地方分権一括法の制定により、市町村窓口での第1号被保険者の届出の届出の届出が移管されたなどころである。国においては20歳未満未加入者には届出を実施し、それにより加入促進者に対するは、未加入者には届出を図つてはいる。本市においてことは、未加入者に開拓する情報を提供し、加入促進が円滑に進められるよう協力している。	4
4	桜島	今後、遊休地や廃園を利用した、観光農園やオーナー制度などのグリーンツーリズムが展開されると思ふが、実際に農業や漁業をやり、行政がリードしていく必要があると思うので、専任の人員の配置などグリーンツーリズムを推進する体制を整えて取り組んでほしい。	2	経済局	研修会等を通して推進リーダーの育成や専門的知識を持った人材の活用を図るとともに、地域の特色を生かした交流を推進するため、地域内で実践していきながら、組織づくりを支援し、推進方々が互いに連携する体制づくりに努めてまいりたい。	1

## 第9回（平成18年度第3回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）  
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのものの、2 今後施策への反映を検討するものの、3 要望等にそい難いもの、  
 4 市の所管に属さないものの、5 その他の

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
5	松元	多額の予算を計上して「環境未来館（仮称）」などの施設を整備するようだが、そのお手本は旧鹿児島市域に一極集中しように思われる。一極集中の格差が広がりは従来の手法であります。今後は地方を活性化するということにようこそ。鹿児島市全体が活性化するという発想で、地域配分を考えた事業を行っていただきたい。	2	企画部	環境未来館（仮称）については、参加・体験型環境学習の拠点施設と市民が気軽にリユース・リサイクル活動に参加できる施設を一体的に整備するものであります。新市の建設の速やかな一体化とともに、それぞれの地域の特性を生かしながら一回り大きく新しい魅力を持つた鹿児島市を創造するため、昨年度第四次鹿児島市総合計画の改訂等を行ったところである。今後とも、同計画に基づく諸施策を迅速かつ着実に推進する中で、各地域の振興を図り、新生鹿児島市の活性化につなげてまいりたいと考えている。	1
6	郡山	公共施設の利用率や有効活用を考える時、旧市、旧町といつた枠や所管を超えて、全市的に公共施設の役割、配置、新設等を考えていいべきではないか。新たに施設を造つたは理すばくここではないが、行政の縦割りの中で類似したたたかれてはありがたいし、必要なものは似たたたかれてはほどのではなく、既存の施設を地域に施設を造つた利用の仕方、融通の効く使い方を考えていきたい。	2	企画部	各種公共施設については、各担当部局において、全市的な観点に加え、地域バランスにも意を用いて、中で、設置目的や利用予測等も踏まええた設置を行つてあるが、今後、さらには高齢化の進展など社会情勢の変化などで、複合化や既存施設の有効活用などについても検討する必要があると考える。	5



第9回（平成18年度第3回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）  
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないものの、5 その他

番号	会議名	意見等の概要	意見等 の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況 の分類
9 郡山	「市長とふれあいトーク」は、市長が直接地域に出向いて住民と膝を突き合って対話を実施する。このようないわゆる「市長とふれあい会」は各局長が開催していきます。そこで、市長が実際に会議を行なうことで、より具体的な意見交換が行われます。その状況を実施すれば、「町時代には、地域の会議を開催する。そこで、市長と一緒に意見交換する。」といつた後に三役が気軽な顔を出していたのに、その後にはないか。	2 郡山	5	市民局	これまで開催した市長とふれあいトークでは、主に市内を巡回する形で開催などについて率直なご意見・ご提言を伺つてきました。特に旧5町地域の方から伺ったところ、合併によりここに開催される。特に新市の速やかな一体化と均衡ある発展の重要性を再認識しました。また、市の幹部などの職員が地域の方々と、それぞれのテーマごとに語り合う取り組みとしては、現在「市政出前トーク事業」があるので活用していただきたい。	5

**平成18年度第4回地域まちづくり会議概要**

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
開催日時	平成18年11月21日(火) 13:30~16:00	平成18年11月15日(水) 14:00~16:30	平成18年11月21日(火) 13:30~16:00	平成18年11月17日(金) 14:00~16:35	平成18年11月28日(火) 13:30~16:45
開催場所	吉田福祉センター 2階会議室	桜島支所2階大会議室	マリンピア喜入八幡温泉保養館 2階第1会議室	松元支所3階大会議室	郡山支所3階会議室
出席者数	委員14人	委員11人	委員12人	委員15人	委員14人
会議内容	1 開会 2 (1) 前回会議における意見等の検討状況 (2) 意見・提言等の協議 <各会議の協議テーマ>	3 閉会 (1) 教育、地域の活性化対策など (2) 防災、消防、福祉など	3 閉会 (1) 農業・観光振興(まとめ) 自治組織と住民自立	3 閉会 (1) 土地利用、市街地整備、農村地域整備など～ 交流拠点・都市	3 閉会 子どもの安全・事故防止、市民活動、イベント・交流、行政サービスほか
主な意見等	1 産業廃棄物処分場のドラム缶は野積みにならぬか。これがあふれると危険だ。 2 産業廃棄物処分場のドラム缶は野積みにならぬか。これがあふれると危険だ。	狂犬病予防法を含め、いかで、いかに実施いただきたい。 狂犬病予防法には罰則があるのに、高齢者の健康増進や生きをを進めようとしているが、高齢者に対する高齢者の虐待調査ができない。 狂犬病予防法には罰則があるのに、高齢者の虐待調査ができない。 狂犬病予防法には罰則があるのに、高齢者の虐待調査ができない。	狂犬病予防法には罰則があるのに、高齢者の虐待調査ができない。 狂犬病予防法には罰則があるのに、高齢者の虐待調査ができない。	狂犬病予防法には罰則があるのに、高齢者の虐待調査ができない。	狂犬病予防法には罰則があるのに、高齢者の虐待調査ができない。

平成18年度第4回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
3	吉田福祉センターの入浴施設は、ボイラー機が故障し、温泉の一修理工事をしていながら、現在は修理費とボイラーラー設置の修理費をとしている。温泉地の差が大きい。行政無線を行ってほしい。	合併前は、防災行政無線を利用し情報提供がなされ、現在は放送が有効活用してほしい。	軟弱野菜は喜入地域でもつくるものも自らの気候のため、べきで資源と資源を有効活用してほしい。	軟弱野菜は喜入地域だけではなく市内での他の喜入地の状況や行なわれ、現在は放送がなされ、現在は放送が制限され、行政無線を行ってほしい。	吉田の他の喜入地の状況や行なわれ、現在は放送がなされ、現在は放送が制限され、行政無線を行ってほしい。
4	吉田福祉センターの温泉施設利用者が1日20人しかいないことにとだが、利用者を50人くらいに増やす努力はできないか。	吉田福祉センターの温泉施設利用者が1日20人しかいないことにとだが、利用者を50人くらいに増やす努力はできないか。	児童委員でいるが、(町内会長)の協力をしてほしい。	地域福祉施設の活動が、(町内会長)の協力をしてほしい。	児童委員でいるが、(町内会長)の協力をしてほしい。
5	吉田の同性の女性の参画を増やすべきですか。	吉田公民館運営会の委員は6名うち女性は2名である。男女の比率を整めたい。	桜島地域の主要道路である国道・歩道におけるよう、歩道の新設や拡幅など段差について関係機関へ要請してほしい。	吉田公民館運営会の委員は6名うち女性は2名である。男女の比率を整めたい。	吉田公民館運営会の委員は6名うち女性は2名である。男女の比率を整めたい。

**平成18年度第4回地域まちづくり会議概要**

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	都山地域まちづくり会議	
		6	7	8	9	
吉田公民館に行くとチラシがたくさんあります。吉田さんで済ます紙で、資源の観点からも統合できると思う。市の中でもあるようなものはないか。	各地域の高齢者の世帯や独居老人の情報は、民生活報であります。地域住民が助け合うために必要な情報は、(町内会長)にも、これらを提供してほしい。	吉田公民館がたくらに広報するところは、吉田公民館が発生した際、地域住民が相互に助け合うためには、地域公民館を整えるべき点からも市全体で難不可欠な点ではないか。	吉田地域の高齢者のみの世帯や独居したままに活動するところは、それと同様に、地域住民が相互通じて、吉田公民館を整えて、吉田公民館を運営するためには、吉田公民館や地域活動の実施が、吉田公民館の運営を主導する役割を、従来縮小・廃止を上位にすることによって、吉田の公民間部のやり方で検討する必要があることについて話し合う必要があると思う。	吉田公民館が校区公民館として行つておられたことの、それが、そのまままた、校区時代を続するにつれて、吉田公民館を占め分を繼續するにあたきつたことは、吉田の公民館や地域住民にこだわる役割や、行事の規模などによるところが、吉田の公民館や地域住民にこだわることについて話し合う必要があると思う。	吉田公民館が校区公民館として行つておられたことの、それが、そのまままた、校区時代を続するにつれて、吉田公民館を占め分を繼續するにあたきつたことは、吉田の公民館や地域住民にこだわる役割や、行事の規模などによるところが、吉田の公民館や地域住民にこだわることについて話し合う必要があると思う。	吉田地域の高齢者の世帯や独居老人の情報は、民生活報であります。地域住民が助け合うためには、地域公民館を整えるべき点からも市全体で難不可欠な点ではないか。

平成18年度第4回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
8	吉田文化体育センターの舞台に車が登り降りごとで、手段のできる限りアフリ一括で、桜島全島を整えてほしい。	「安心ネットワーク119」のほりの生涯学習課は、喜入（地域）公民館にきめ細かく、地域に必要な指導を行えるようしてほしい。	県道谷山小山田線の通行車輛はひどくなる前に、松元地域から谷山地域へ通じる次のルートを策定していただきたい。	おはら祭の際に郷土芸能を披露するRTRでも足りないところを、市といたしまで支援	おはら祭の際に郷土芸能を披露するRTRでも足りないところを、市といたしまで支援
9	吉田文化体育センターの方が車いすまま車いすの上り下りができる。補助者の方々が車いすのアフリ一括で、桜島全島を整えてほしい。	学校給食費の未払いがあるように聞いているが、食べたものは払うと未払いは、吉田地域ではどちらが原則である。給食費の未払いがあるのか教えてほしい。	これまで過疎対策として市営住宅の建設を答えて、「17年度に5町の過疎化の懸念を行う」と今後の方向性を教えてほしい。	校区公民館の鍵の管理について、校区では夜間や休日は借りができないので、鍵を置いてほしい。	郷土芸能につけては、地域の方々は自分たちの地域にあります。財政援助が能効的で、行政活動など支流を作成するが、行政活動に対する対応をよろしくお願いしたい。
10	吉田文化体育センターの舞台に車が登り降りごとで、手段のできる限りアフリ一括で、桜島全島を整えてほしい。	学校給食費の未払いがあるように聞いているが、食べたものは払うと未払いは、吉田地域ではどちらが原則である。給食費の未払いがあるのか教えてほしい。	これまで過疎対策として市営住宅の建設を答えて、「17年度に5町の過疎化の懸念を行う」と今後の方向性を教えてほしい。	校区公民館の鍵の管理について、校区では夜間や休日は借りができないので、鍵を置いてほしい。	郡山地域では、市民が誰でも参加できるイベントが、おそらく開催地域の住民でいるも何処でいいか分かるが、多くは広い範囲で行われる手堅い情報をして、市民が集めたり、情報紙等を販売したりして、市の広報紙等を発信していただきたい。

平成18年度第4回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
11	吉田地域総合文化祭で、吉田文化体育センターを利用せず、音響機器や照明設備を設置した。音響機器を使っている場合、うにても、音響機器を作り、操作等を徹底するためにも、規則を配置していただきたい。				今年の八重山ハイキングでは約400人が登山に参加されたが、地元郡山地域の参加者が少なかいことは、活動で地域行 verschillende 地域に参加する者の中でも、静かなところには、山頂付近で見られる。しかし、自然や環境に対する意識が高まることは、付加価値を見込めるのではないか。
12				甲突川や八重山などの自然体験型のイベントや活動を実施しているので、グループなど体・それらの可能性について行政の協力も得ながら、甲突池祭り等は、自然を体験する環境交流事業として、今後このあたり方にについてさらに検討していくべきである。	甲突川や八重山などの自然体験型のイベントや活動を実施しているので、グループなど体・それらの可能性について行政の協力も得ながら、甲突池祭り等は、自然を体験する環境交流事業として、今後このあたり方にについてさらに検討していくべきである。
13			吉田地域のまちづくりについて、九州自動車道の薩摩吉田インターチェンジを生かしたまちづくりを考えてほしい。		郡山地域にも現在では使われていない里道などが歩道としてとてもいいコースになると思う。そういう工夫をしないものか。

平成18年度第4回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
14	近年、大原地区ではアパートや住宅が増加しておらず、生活道路の拡幅や下水道の整備などが必要に迫らせていただきたい。				合併で住所は鹿児島市になつたが、まだ鹿児島市といふのではなく、まだ一体化になつてないといふの「郡山地域連」として参加できればと思っている。
15		吉田校区では、農振地域に指定されていることから、住宅の建築が制限され、将来、過疎化が進んでいく。また、これまでに農振地域が拡大すると伺つた。地域の活性化のためにには、農振地域の指定を見直してほしい。		運動会やふるさと祭り等の行事が多いが、な婦間にはおはらり女踊りや年鑑も年細い性活動があります。各自も性活動をするので、その気分が人部聚がありといふものかどいいけないものかと考えている。	
16					女性の参画についてはイベント等に参加するだけではなく、計画的に参画する目的に活動的な運営が進むつもりで、どちらも主導した。地域活性化のための会員登録が行われるなど、地域活性化のための要望が廢止されないで、地域活性化の面でも朝市を復活してほしい。

平成18年度第4回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
17	大原地区は人口が増加してきていますが、宮小学校の児童は年々減少してきています。大原地区の一部を直面し検討していただきたい。	宮校区に児童クラブを設置したい			合併前は、行政主導のもとで少な くとも各種団体の運営が行われて、それから合併活動中で、いろいろな意見が交わされ、いろいろな声が各団体に提出されますが、これが合併によって大きく変わることになります。合併後、各団体が自分たちの立場から意見を出し合って、お互いに理解を深めます。それが合併の目的である本音の理解を盛り上げていく取り組みが必要です。
18					新聞に合併後の旧5町地域の自治会等の様子が掲載され、いろいろなことを感想していきます。郡山市においては、合併組織の指導・助言をもたらし合併後いち早く自治活動や連合などを実現するが、これは出合ったかとも思つたかも知れない。行政がついてはなかなかの助言は非常に協力的で、本當の市民との協力は非常に難だらしく、行政の政策としては、今後の市との関係でも活かしていかなければなりません。
19					郡山地域の自治会再編について は、自治会員と支所の職員が取 り組まねばならないが、これが郡 山地域の活性化していくのではな いかと思ふ。

平成18年度第4回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
20	小さな町内会は合併をする必要がある書あるが、町内会の範囲が広くなる文書など、行政から町内会長へ来る変化に文書を送付する役員のなり手として班長に文書を送付することを検討してほしい。				自治会活動も鹿屋市串良町柳谷集落のいをよく思ふが連携、活大会を催す。また、親睦ゴルフがあん方と交換を運営する。年、吉野町の内会長は意見はあるが、う気持ちで取り組んでいきたいと思っています。
21		町内会未加入者が増えているたため、地元の住民も町内会新規加入勢「こなれ感」と町内会長に連絡があるが、行政側も「こなれ感」と連絡してしまった。			消防分団に対する地団から助成金を申請するには、各小学校予算編成検討をすることとする。19年踏まえて、19年度の予算編成検討をする。
22					鹿児島市の行政を見ると、あまりにも細分化されすぎで、自分の専門分野は詳しいが、総体的な面が少なくて、他の職員にトドケたいと思う。

平成18年度第4回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
23	吉田地域のウォーキングロードを利用してからウォーキングや下校の児童・生徒もいいので、防犯のためにもウォーキングロードを設置してほしい。				土地区画整理事業が順調に進んでいます。この事業は、今さらでは、あくまでも、そのために土地を購入する本業的で、しっかりと運営していくことが、地域に大きな影響を与えることになります。そのため、まずは、行政当局の協力が求められます。また、この事業は、地域全体の発展に寄与するものであり、多くの人々が受益するものと期待されています。
24		全れ畠圃地に空家が増え雑草が茂っている。子供たちが入って潤したり、火遊びをしたいたりしないように、行政から持ち主に管理について指導を行ってほしい。			耕作者不足で農地が荒れています。都市部には農業体験をしたい人がいるなど、農業体験のモデル的なことをやつてみたいと思います。また都市農業センターのような1坪農園を小規模で貸し出せば、さも増地を借りて先進地調査を行ってみたい農業者が多いです。また、いろいろな種類を組めばどうか。概ね、みかさまた地域の若どもが、1坪農園等に取り組んでほしい。